



ちば炎の仲間

第3回定時社員総会開催

去る5月20日(水)16時30分から三井ガーデンホテル千葉において、第3回定時社員総会並びに全国LPガス政治連盟千葉県支部第40回通常総会が開催されました。

総会は、高岡副会長の開会の辞に始まり、横山会長からのあいさつ、来賓の方々からのご祝辞をいただいた後に議事に入りました。議事は、議長に芹澤寛(松戸支部)が就任し、議事に入り、全議案が承認され、国会の都合で遅着された秋元真利衆議院議員からの祝辞が述べられ、金牧晴夫副会長の閉会の辞で幕を閉じました。

懇親会では、伊藤昌弘千葉県議会議員からのあいさつをいただき、盛会裏に終了いたしました。

また、LPガス業界のイメージアップに期待する次世代型のFRP製LPガス容器が中国工業機のご協力により展示されました。

【横山会長あいさつ要旨】

当協会は、「一般社団法人」として新たな船出をし、3年目を迎えました。

昨年度は、災害対策としての「改訂：災害対策マニュアル」を策定しました。

本年度は、B級以上の重大事故の撲滅、電力・都市ガス小売全面自由化、そして取引の適正化に向けて次の4項目を推進します。

- 1 「改訂：災害対策マニュアル」に基づく体制整備
 - 2 「LPガス販売指針」の周知徹底
 - 3 「LPガス安全応援推進運動 “すべてはお客様の安心のために”」の推進
 - 4 液化石油ガス災害防止機器等普及啓発事業(県委託事業)の推進
- 各々の詳細については、会報及び6月の県指定保安会場で説明致します。

【森田健作千葉県知事祝辞】

(加藤岡防災危機管理部部長代読)

一般社団法人千葉県LPガス協会第3回定時社員総会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろからLPガスの保安業務の実施や、消費者に対する保安意識の高揚に努められるなど、本県のLPガス保安行政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

LPガスは、二酸化炭素の排出量の少ない環境にやさしいクリーンで生活に欠くことのできないエネルギーです。また、東日本大震災ではLPガスは立ち上がり早いことから、災害時

に非常に有効な分散型エネルギーであることが実証されました。

このように利便性の高いLPガスであります。一方、ガスの漏えいによる爆発や火災、不完全燃焼による一酸化炭素中毒といった事故が毎年発生しています。これを未然に防止するには、LPガス設備の調査点検や消費者への安全な使用方法の周知などが大変重要です。

県としましては、今後とも皆様方との一層の連携強化に努めて、LPガスの安全な取扱いと事故の防止を推進し、災害に強い地域づくりを進めてまいりますので、御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人千葉県LPガス協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

【秋元真利衆議院議員祝辞要旨】

私は自民党の中でエネルギーが専門分野であり、皆様の業界を取り巻く状況については今勉強中ですが、少しでも業界の発展につながる活動をしたと思っています。

この業界で耳にするのは「不当販売」の問題です。地域に根差し信頼を得て商売をされている皆様を脅かすようなことはあってはならないと思います。

また、LPガスは消費を伸ばしていかねばなりません。そのひとつとしてエネファームの設置があり、

発行
 一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail: chibaipg@chibaipg.or.jp
 http://www.chibaipg.or.jp
毎月10日は保安の日



補助金もありますが、LPガスの設置台数は我々が思っているように伸びていません。LPガスエネファームの設置台数数値を伸ばそうと、都市ガスとLPガスとで補助金の考え方を考えてみます。また、逆潮流電気の買い取りを議論もしております。

来年4月に電力の自由化、2年後にはガスの自由化となり、業界は大きな転換期を迎えます。皆様の現場の声を聴いて、国に戻って訴えていく、皆様に寄り添った政治活動をしていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【来賓紹介】

千葉県防災危機管理部加藤岡正部長、衆議院議員森英介先生の秘書藤江成光氏、衆議院議員林幹雄先生の秘書宮川太氏、衆議院議員櫻田義孝先生の秘書照井遼氏、衆議院議員渡辺博道先生の秘書藤村健氏、参議院議員石井準一先生の秘書鈴木章生氏、千葉県防災危機管理部産業保安課森文彦課長、千葉県石油商業協同組合湯浅昭事務局長、一般社団法人全国LPガス協会若山義彦事務局長

【議案】

- 第1号議案 第2期事業年度事業報告及び決算承認の件
- 第2号議案 第2期事業年度事業計画及び収支予算報告の件
- 第3号議案 役員一部選任の件

【第40回通常総会を開催】

全国LPガス政治連盟千葉県支部は、第1号議案平成26年度事業報告並びに収支決算、第2号議案平成27年度事業計画並びに収支予算、第3号議案役員一部選任の件についての案件全てが承認されました。

小中学校等へLPガス冷暖房の導入を!

お知らせ コーナー



千葉県防災危機管理部
産業保安課 保安対策室

本県の液化石油ガス保安行政の推進につきましては、日頃から御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

1 平成27年度の防災危機管理部産業保安課保安対策室の配置について

4月1日の人事異動により、防災危機管理部産業保安課保安対策室液化石油ガス・冷凍担当の職員をお知らせします。

保安対策室

副課長兼保安対策室長 山田 満

主 幹 江澤 昌夫

液化石油ガス・冷凍担当(担当地区)

副主幹 渡辺 敏之(市原・夷隅・安房管内)

副主査 上原 健(千葉・山武・長生管内)

技 師 堀中 洸太(印旛・海匝・君津管内)

技 師 吉川 峻(東葛飾・葛南・香取管内)

2 質量販売に関する法令遵守の徹底について

経済産業省本省管轄の液化石油ガス販売事業者でかつ保安機関でもある事業者が行った質量販売において、消費者の一人が軽傷を負った火災事故について、供給開始時に液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関す

る法律第14条第1項に規定する書面の未交付、並びに第27条第1項に規定する消費設備調査及び周知の未実施が確認されました。

このことについて、経済産業省から標記件名の注意喚起が平成27年3月10日付けでありましたので、県から一般社団法人千葉県LPガス協会に平成27年3月24日付け産保第3164号で通知をしました。

液化石油ガス販売事業者及び保安機関は質量販売に際して、法令遵守を徹底するとともに、一般消費者等の保安の確保のために適切に保安業務を実施するようお願いいたします。

3 液化石油ガス災害防止機器等普及啓発事業について

東日本大震災の教訓を踏まえ、液化石油ガスの自然災害に係る対策として、容器転倒防止の鎖又はベルトの二重掛け及びガス放出防止機器等(高圧ホース型、放出防止器型)の設置推進についてLPガス災害事故防止セミナーを開催します。

平成27年度は沿岸部18市町村(銚子市、旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、九十九里町、大網白里市、白子町、長生村、一宮町、いすみ市、御宿町、勝浦市、鴨川市、南房総市、館山市、鋸南町、富津市)の液化石油ガス販売事業者を対象として開催しますので、受講をお願いします。

また、併せてガス放出防止機器等の普及に係る実態調査を実施しますので御協力をお願いします。

会議報告

平成27年度 第1回 理事会開催

《議事》

- 議題1 第3回定時社員総会の諸準備事項について
- 議題2 役員一部選任について
- 議題3 LPガス小売価格の透明性・低廉性確保への一層の努力について
- 議題4 27年度LPガス防災訓練の実施について
 - ① 千葉県LPガス業界独自の防災訓練の実施について
 - ② 情報収集訓練の実施について
- 議題5 協会ホームページに販売店一覧を掲載することについて
- 議題6 27年度役員会等開催予定について
- 議題7 その他(「オイシイ話には!」注意喚起パンフレットの有償注文について)

平成27年度 5月定例 支部長会開催

《議事》

- 議題1 総会の諸準備事項について
- 議題2 27年度支部交付金及び委嘱事業費について
- 議題3 27年度県指定保安講習会について
- 議題4 27年度千葉県高圧ガス保安大会について
- 議題5 27年度「自主保安活動チェックシート」提出及び液化石油ガス消費者保安功績者表彰等の候補者の推薦について
- 議題6 液化石油ガス災害防止機器等普及啓発事業について
- 議題7 「安全機器普及状況等及び需要開発推進運動等」報告書の提出状況について
- 議題8 ガス検知器・CO測定器の無料診断について

去る4月14日(火)午後1時30分より理事会、5月8日(金)午後1時30分より支部長会が、共に千葉県ガス石油会館5階会議室において開催され、慎重審議の結果、共に全議案が可決承認されました。

- 議題9 27年度LPガス業者賠償責任保険契約更改手続について
- 議題10 その他
 - ① 27年度「ガス警報器設置・交換、住宅用火災・CO警報器設置運動」の実施について
 - ② FRP容器によるLPガス販売の可能性調査について

協会からのお知らせ 続きは4面へ

I 新規事業：千葉県からの委託事業

名称：液化石油ガス災害防止機器等普及啓発事業
事業内容：

- ① LPガス災害防止機器等の普及状況を把握するための調査事業
- ② LPガス災害事故防止セミナーを開催し、液化石油ガス販売事業者の防災意識高揚を図る事業
- ③ 防災フェア等においてパンフレットを配布すること等により、一般消費者の防災啓発を図る事業

II 提出物

- ① 27年度「自主保安活動チェックシート」
- ② 液化石油ガス災害防止機器等普及状況報告書

※ ①、②共、提出期限は、6月26日(金)です。



青年委員会便り
千葉県LPガス協会青年委員会
第20回通常総会を開催!

コンセプトは『LPガス事業と経営の見直し』

千葉県LPガス協会青年委員会は、平成27年4月24日(金)午後3時30分から三井ガーデンホテル千葉において、第20回通常総会を開催しました。

総会は、第1号議案 第20期事業年度事業報告並びに決算承認の件、第2号議案 第21期事業年度事業計画並びに収支予算書(案) 審議の件とも異議なく承認されました。

また、総会前に開催した幹事会において、昨年実施した「炎の出前教室」を本年度も県内の小学校での実施に向けて活動することとなったこと、廃棄ガスメーター回収運動について、昨年同様3カ所に10万円ずつ寄付することが決定したことを報告し、委員各位に協力をお願いしました。

なお、本年度委員会のコンセプトを『LPガス事業と経営の見直し』とし、迫りくる電力・都市ガスの小売全面自由化への対策が必要とされている中、我々若い世代が先頭になって業界の見直しをしていこうと考えています。

総会終了後の基調講演は、2013年に当協会で開催した需要開発セミナーと今年1月から3月にかけて4回シリーズにて開催した「LPガス業界の未来を切り拓く」セミナーにてご講演いただいた(株)伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー 代表取締役兼アナリストの伊藤敏憲様より、「次世代経営者の資質」～エネルギーの自由化・競争時代に必要なマネジメント力～についてと、我々青年委員会のOB、第7代・第8代委員長の(株)リルファナカジマ代表取締役の中島元男様より、電力・都市ガス小売全面自由化への対抗手段として「コンボジット(FRP)容器普及促進の提案」～既存概念を打破した次世代のLPガスシステムの構築～についてご講演いただきました。



＜伊藤先生の記念講演風景＞

中島様の提案を受けて、横山協会長より協会として取り組んでいく、日下委員長から青年委員会も協力をしていくとの方針が示されました。

本年度も引き続き、廃棄ガスメーター回収運動含め青年委員会の活動にご協力をよろしくお願いたします!

リノベーション研修会 シリーズ第1回/6回を開催

当協会が主催する第3回目となるリフォーム研修会は、平成27年5月14日(木)に千葉県ガス石油会館5階会場にて開催されました。シリーズ第1回目となる研修会は、2部構成で開催しました。

- ・前段 「リフォームの時代がやってきた」 講師：橋本総業(株) 教育研修部長 鎌田 廣氏
 - ・後段 「初歩から取り組めるリフォーム研修会」 講師：当協会防災アドバイザー(一級建築士) 荒尾 博氏
- 今回の研修雑感は、「縞馬」さんにお願しました。

前段にお話頂いた「日本のエネルギー施策」と「現状」といった内容は、我々LPガス販売事業者にとって身近で理解しやすく、また「再生エネルギーの家庭負担増」についてはリフォーム事業を「新規参入事業者」はもちろん「既存事業者」両者において、非常に参考になる内容でした。



また、「中古住宅流通・リフォーム市場の規模倍増」という国土交通省の指針及び中古住宅流通市場活性化(住替え促進)による将来像は、リフォーム事業の意識拡充に繋ると思われま

その反面、国の施策等による「リフォーム市場の拡大と事業拡大の可能性」といった「追い風情報」のみでなく「職人不足」、「法改正による問題点」や「ハウスメーカーや住設機器メーカーのリフォーム事業強化」、「現場施工に関する問題点」等についても知ることができました。

これらを参考にし、「地域密着で顔の見えるサービス提供」を行っている強みに加え、さらに国土交通省大臣登録の「住宅リフォーム事業者団体」や「ベターライフリフォーム協会」へ入会。入会後に店頭ステッカー、名刺等印刷物、ホームページ等の媒体へロゴと合わせて入会していることを周知す



ることにより「信頼性の向上」と「宣伝」。

そして、どこに頼んで良いかわからないといった「消費者の悩みの解消」に努めることが「リフォーム事業の成功」に必須と考え、販売促進活動及びスタッフの意識向上に早速活用させて頂きます。

末筆となりますが、貴重な情報に加え「好感度現場マナー」(小冊子)によるすぐに現場で実践できる情報を頂きましたことに感謝申し上げます。

その他、省エネ住宅ポイントを活用

支部便り：長夷支部

ドン・ロドリゴ

渾小川プロパン 小川 豊

わが町御宿は、きれいな海、白い砂浜、月の沙漠の童謡の地等で有名ですが、今回は1609年に岩和田田尻沖で嵐に会い遭難



ラファエル・ゲレロ作く抱擁>

し、救助された、ドン・ロドリゴについて、少し紹介します。

ドン・ロドリゴは当時スペイン領フィリピンの臨時総督の任務を終えてメキシコに帰る途中旧岩和田村(現御宿)田尻沖で、台風1609に会い遭難したところ、岩和田村の村民に救助され、凍えた乗組員を素肌で温め、衣服や食料を惜しみなく提供し、乗組員373人のうち317人の命を救いました。救助されたドン・ロドリゴ一行は、大多喜藩主本田忠朝に歓待され、本多忠朝の取り計らいで、二代將軍徳川秀忠に謁見し、江戸を見聞して、駿府に行き徳川家康と会見したりしました。その後、家康からウィリアム・アダムスの建造したガレオン船の提供を受け、翌年1610年アカプルコに無事帰還することができたそうです。しかし、なぜ、ドン・ロドリゴ一行は、大多喜で歓待されて、將軍徳川秀忠に会い、徳川家康にも会い、そのうえ、船まで頂いて帰れたのでしょうか？

実はその頃、徳川家康は代々のフィリピン総督に対して「朱印船貿易の拡大」や「メキシコへ向かう フィリピン船の関東立ち寄り」や「メキシコとの直接貿易」等の要請をしていたのです。しかし、これらに対する確たる回答は無く、「ドン・ロドリゴは関東の港に立ち寄る」という返書を受け取っていたのです。その矢先の遭難でした。

ドン・ロドリゴは家康との面談で、①宣教師の保護②スペインとの友好親善③日本

にいるオランダ人を退去させるという三箇条の請願書を提出し、家康は①と②を了承し③は既に滞在許可を与えているので、今直ぐには困難と回答しました。また、家康からは鉱山精錬技術等の供与を要請したそうです。そこで、1610年ドン・ロドリゴの帰還する船に家康の使節団を乗せて送り込み、その翌年1611年には、その使節団は、鉱山精錬技術士等連れて日本に帰ってきます。そして日本の金山銀山では、海外の精製技術が伝授され飛躍的に生産量が上がりました。私は、徳川幕府約260年の繁栄には、この技術があったからだと思いたい。そして、その2年後の1613年今度は、仙台藩伊達政宗公による慶長遣欧使節団を乗せて帰還していきました。

近年では、1978年にロベスメキシコ大統領が来町され、2009年9月26日には日本メキシコ交流400周年記念式典が開催され、皇太子さまをはじめ駐日メキシコ、スペイン両大使や武正外務副大臣、森田知事等が出席なされ盛大に行われました。また、メキシコ彫刻界の巨匠ラファエル・ゲレロ氏の作品「抱擁」がメキシコ政府から贈呈されました。

鎖国の時代にも、人の命の大切さを身をもって証明した村民、本当に大切なものを今なお大人から子供へ受け継いでゆく町。そんな心の温かさを感じる町「御宿」です。

2面からの続き 協会からのお知らせ

III セミナー

1 「LPガス販売指針」説明会

当協会では、「LPガス小売価格の透明性・低廉性確保への一層の努力について」の対応として「LPガス販売指針」の説明会を下表のとおり3ブロックで開催します。

主な内容は、戦略的な価格政策の必要性を説き、政策的料金体系の確立についてとなります。

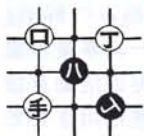
ブロック名	日時	会場
東ブロック(山武・海面・鏡子・香取・長夷)	9月2日(水)14~16時	東金文化会館
西ブロック(市川・松戸・野田・柏・印旛)	9月7日(月)14~16時	千葉県ガス石油会館
中央ブロック(千葉・船橋・安房・市原・木更津・農協)	9月9日(水)14~16時	君津市民文化ホール

● なお、「ちば炎の仲間」第194号第3面を事前にお読みいただければ幸いです。

● 2 液化石油ガス災害防止機器等普及啓発セミナー

● 当協会では、本紙第2面のとおり千葉県から液化石油ガス災害防止機器等普及啓発事業の委託を受け、標記セミナーを下表のとおり開催することと致しましたので、通知を受けた事業所は、必ず受講されるようお願い致します。

日時	会場	対象市町村名
10月2日(金)13:30~	大網白里市保健文化センター	鏡子市、旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、九十九里町、大網白里市、白子町、長生村、一宮町
10月6日(火)13:30~	南総文化ホール	いすみ市、御宿町、勝浦市、鴨川市、南房総市、館山市、鋸南町、富津市



恵みの雨

「恵みの雨」は、一般的に大地を潤して草木を育成させる雨。また、天の助けのように降る雨。この時期、作物、米、野菜、他、植え雨が降り、育っていき、実り、皆さんの生きる糧になるわけです。雨がもたらす自然の恩恵です。土に接する

● ことの少ない現代の人々は、「雨の恵み」を意識する機会が少なく、雨が降ると文句を言う人が多いので、天気予報士も梅雨のとき、雨の予報を言うとき、残念そうな声で言います。でも、降り過ぎますと災害が起き、人、山崩れ等、甚大な被害が出ます。そこで好雨(こうう)、つまり丁度よく降る雨が一番いいのです。

● これから梅雨に入ります。梅雨が終

● われば、夏。猛暑にならないように願っています。「今日は、久しぶりに雨が降っても涼しくなりました。」などと縁側に座って、浴衣を着て、膝に孫を乗せ、近所の人とスイカでも、頬張りながら…日本人で良かったなーと、風流に俳句の一句も詠いたいものです。

吉野 和弘



空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！